

〔水稲〕

1. 作付の概況

九州における平成23年度の水稲作付面積（子実用=青刈り面積除く）は、18万3,500haで、前年より6,500ha(3%)減少した。これは、飼料用・米粉用・稲発酵粗飼料用稲などの新規需要米の作付が増えたためである。品種毎の作付状況を見ると、「ヒノヒカリ」の面積が最も多く、九州の作付品種の50%(5年前は56%)を占め、次いで「コシヒカリ」14%で、両品種で64%(同70%)であった(H23年の品種割合は、長崎のデータは除く)。一方、高温でも白未熟粒発生が少ない「夢しずく」や「さがびより」、「元気つくし」、「にこまる」、「あきほなみ」、「くまさんの力」、「おてんとそだち」の作付面積は、10%(同2%)となった。

2. 作柄の概況

九州における平成23年産水稲の収穫量は、92万7,000tで、前年とほぼ同様であった。これは、作付面積は減ったものの、作柄は、作況指数100の「平年並み」(収量:505kg/10a)に、持ち直したためである。県別の作況指数では、沖縄が90の「不良」で、宮崎は98の「やや不良」であったほかは、大分が99、福岡、佐賀、熊本、鹿児島が101の「平年並み」で、長崎が102の「やや良」であった。

3. 生育の概況

1) 普通期水稲

田植え時期は、平年並み～3日程度遅く、7月上旬の梅雨明け以降おおむね天候に恵まれたものの、出穂直前の8月中旬以降日照不足で推移し、出穂期は平年並み～3日程度遅れた。穂数は平年並みで、全もみ数も多く多くの県で平年並みとなった。出穂期以降は、気温はやや高めに経過したものの、おおむね好天に恵まれたため、登熟は平年並み～やや良となり、刈り取り時期は、平年並み～1日遅れとなった。玄米品質は、1等米比率が九州全体で57%とこの10年間では3番目に高い数値であったが、全国平均の81%を大きく下回った。出穂後20日間の平均気温が27℃前後とやや高かったことも影響したと思われる。2等以下への格下げ理由としては、充実度が最も多く38%で、次いで乳白・心白24%、整粒不足12%、着色粒(カメムシ類)11%であった(11月末現在)。

2) 早期水稲

主産県の作柄は、宮崎県が作況指数96(収量:462kg/10a)、鹿児島県が97(同:428kg/10a)で、ともに「不良」であった。これは、田植え時期の低温により穂数が少なく、出穂前の日照不足もあり、全もみ数が少なくなったためである。登熟は、7月中旬以降おおむね天候に恵まれたため良好で、1等米比率も50-60%と平年並みであった。一方、沖縄県では、収穫量の8割を占める第1期作において、3月から4月の低温と、出穂直前の5月末に本島に上陸した台風第2号の影響により、作況指数80の著しい不良となった。

4. 被害の概況

九州の水稲の被害面積は60万3,900haであり、被害総量は10万4,900tで、被害率は11.4%と、平年を0.9ポイント下回った。被害種類別に見ると、気象被害は平年を0.9ポイント下

回り、特に台風被害など風水害は少なく、カメムシなどによる虫害も少なかった。しかし、病害はやや多く、特にいもち病の発生が平年より0.6ポイント多かった。

(九州沖縄農業研究センター 水田作・園芸研究領域 北川 寿)

2011年産水稻の収穫量

区分	作付面積	10 a 当たり	収穫量	作況指数	前年との比較					
					作付面積		10a当たり収量		収穫量	
					対差	対比	対差	対比	対差	対比
(ha)	(kg)	(t)	(ha)	(%)	(kg)	(%)	(t)	(%)		
九州計	183,500	505	927,000	100	△ 6,500	97	14	103	△ 6,000	99
福岡	38,700	503	194,700	101	△ 700	98	17	103	3,200	102
佐賀	26,600	531	141,200	101	△ 1,200	96	38	108	4,100	103
長崎	13,700	486	66,600	102	△ 300	98	37	108	3,700	106
熊本	37,900	519	196,700	101	△ 1,600	96	7	101	△ 5,500	97
大分	23,500	499	117,300	99	△ 900	96	4	101	△ 3,500	97
宮崎	19,000	489	92,900	98	△ 1,100	95	△ 7	99	△ 6,800	93
鹿児島	24,100	488	117,600	101	△ 700	97	9	102	△ 1,200	99
沖縄	921	277	2,550	90	7	101	△ 16	95	△ 130	95

注) 資料：平成23年産水陸稲の収穫量（2011.12.07，農林水産省大臣官房統計部）

△は減少を示す。